

令和5年度和歌山県認知症対応型サービス事業開設者研修(オンライン研修)日程

	時間数	教科名	内容	講師
接続確認 令和05年 11月07日 (火)	13:00～ 15:00 (120分)	接続確認 ※接続確認は受講者以外の方でも可能ですが、必ず引き継ぎを行ってください。	1.受講番号・氏名の入力 例:001和歌山 花子 2.必ずカメラはON、マイクはOFFにしてください。 3.カメラは顔が認識できるように調整してください。 4.画面には音声確認の為音楽が流れています。 ○1～4を確認できたら接続テストは完了です。 完了した方は自由に入退出可能です。	
1日目 令和05年 11月09日 (木) 受付 9:00～ お昼休憩 12:40～ 13:40	9:00～	受付 ※カメラはON、マイクはOFFにしてください。		
	9:15～	オリエンテーション・開講式		
	9:20～ 10:20 (60分)	地域密着型サービスの取り組みについて I	・地域密着型サービスの指定基準 (特に「地域との連携」「質の向上」について理解する。)	一般社団法人 和歌山県介護支援専門員協会 理事 榎原 友美 氏
	10:30～ 12:00 (90分)	地域密着型サービスの取り組みについて II	・認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、 認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型 居宅介護の各事業所からの実践報告を通じ、各事 業のサービスのあり方について理解する。	株式会社 MURO 代表者 室 みち子 氏
	12:10～ 12:40 (30分)	家族の理解・高齢者との関係の 理解 I	・家族介護者のみでなく、他の家族も含めた家族の 理解と、高齢者と家族の関係を通して、認知症介 護から生じる家族の様々な問題や課題を理解し、 家族への支援の重要性について理解する。 (GH等と家族の連携を中心に)	株式会社 MURO 代表者 室 みち子 氏
	13:40～ 15:10 (90分)	認知症高齢者の基本的理解	認知症という病気と症状について、下記の事項に 関し、基本的な理解を図る。 ・「医学的理解」…医学面から本人の生活に及ぼす影 響を示し、生活障害としての理解を深めること。 ・「心理的理解」…高齢者への周囲の不適切な対応/ 不適切な環境が及ぼす心理面の影響の内容を理解 すること。 ・認知症という障害を抱える中で自立した生活を送 ることの意味と、それを支援する事の重要性を理 解する。	紀伊クリニック 院長 山野 雅弘 氏
	15:20～ 16:50 (90分)	認知症高齢者のケアのあり方	・「認知症高齢者の基本的な理解」を基に、「権利擁 護」や「リスクマネジメント」の基本的な知識を 付与し、認知症高齢者が自分の能力に応じて自立 した生活を送るための支援をするために必要な基 本的な考え方を理解する。	兵庫県立大学 教授 木下 隆志 氏
	17:00～ 17:30 (30分)	家族の理解・高齢者との関係の 理解 II	・家族介護者のみでなく、他の家族も含めた家族の 理解と、高齢者と家族の関係を通して、認知症介 護から生じる家族の様々な問題や課題を理解し、 家族への支援の重要性について理解する。 (地域との連携を中心に)	兵庫県立大学 教授 木下 隆志 氏
17:30～ 17:40 (10分)	「現場体験について」 「課題説明」	・現場体験学習の目的や実習にあたっての留意点に ついて ・研修(職場体験を含む)を通じ、認知症高齢者ケ アについて理解したことや今後の事業所運営に取 り組みたいこと等についてのレポート提出について	事務局	
2日目 令和05年 11月13日 (月)～ 11月17日 (金) の内1日	480分	現場体験	・事業者や介護従業者の視点でなく、利用者の立場 から各事業所におけるケアを体験する事により、 利用者にとって適切なサービス提供のあり方、サ ービスの質の確保等について理解する。	グループホーム太陽のおうち ※ホームページ http://taiyounoouti.com

研修全課程を修了し、受講後レポートが提出(A4用紙 2,000 字以上)された後、内容を審査したうえで修了証書を交付します。
受講後レポート提出期限: 令和5年12月22日(金)※郵送の場合、提出期限消印有効とします。